

平成 25 年 10 月 15 日

南の風 45

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

横浜市大会が無事に終わりました。

選手の皆さん、素晴らしいゲームをありがとうございました。そして、役員、関係者、保護者の皆様、あらゆる場面でのサポート、ありがとうございました。お疲れ様でした。

男子では南部の六ッ川チーム、女子は中部のひかりが丘チームが見事優勝しました。両チームとも春秋連覇でした。本当におめでとうございました。結果を簡単に書きます。

《男子》	優勝	六ッ川	《女子》	優勝	ひかりが丘
	準優勝	鶴ヶ峰		準優勝	川上北
	3位	榎が丘		3位	大正
	4位	駒岡		4位	大原北
	5位～8位（順不同）			5位～8位（順不同）	
		鶴ヶ峰本町			上菅田
		大正			平戸高層
		桜岡			荏田南
		菊名			原宿
	代表決定戦勝者			代表決定戦勝者	
		いずみ野			永田台
		洋光台			磯子

※詳細は市連盟のホームページをご覧ください。

以上男女それぞれ10チームが、関東大会神奈川県予選に出場します。南部連盟からは男女合わせて5チームが出場します。出場する南部連盟のチーム皆さん、全力でがんばってください!!!

さて、市大会を観戦して気が付いたことを書きます。

まずオフェンスです。上位を占めたチームに共通していることはシュート力でした。南の風で何回も書きましたが、バスケットボールは何と言っても**シュート力**です。特にジャンプショットの確率がよくなりました。これは3月の全国大会でも感じたことですが、しっかりストップすること（拇指球で）、ボールポジションと距離の把握、リフトアップからリリースポイントの一定化、フォロースルーといった一連の動作が大変スムーズな選手が増えたということです。練習がハビット化している証拠です。

ジャンプショットの他に気が付いたのは、多彩なシュートセレクトをもつ選手が増えたことです。43～44号で紹介したオフバランス系のシュートもそうですが、ドリブルシュートでも、ディフェンスの状態によって、ハンドチェンジして難なく打つ選手が増えました。男子の選手に多いのですが、女子でもバランスよく打てる選手が出てきました。ドリブルシュートの指導の時に、アンダーレイアップから入ることが多いのですが、将来を見据えた時にクローズアップシュートから入った方が、シュートバリエーションに移行しやすいと思います。試してみる価値はあります。続きは次号で。